

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-104	高等学校	地理歴史	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

学習指導要領や教育基本法の主旨を忠実に守りつつ、以下の点を編集の軸とした。

- ① 我が国の連綿と続いてきた歴史や伝統を尊重し、世界の歴史の良識を身につけられるように構成する。
- ② 基本的な知識や技能の習得と、意欲ある学生のための発展的学習を手助けするものをバランスよく構成する。
- ③ 歴史の真実を探求する自主性を促し、答えではなく問いを提起することを重視して構成する。
- ④ 我が国の歴史に誇りを持ち、また他国の歴史を敬うことのできるように構成する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本文およびコラム	【幅広い知識と教養を身に着け】本文を中心に豊富な情報量を盛り込み、コラムにおいてさらに補足する形で、従来は焦点が当てられなかったところにまで手の届くものとなるように留意した。(第1号)	全文
世界史への眼差し1・2	【自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う】(第4号)	5～9ページ
第一部 第一章 文明の成立 第二章 中央ユーラシアと東アジア 第三章 南アジアと東南アジア 第四章 西アジアと地中海世界 第五章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	【正義と責任】 エルトゥールル号事件における日本人の行動が今なお続く両国関係に繋がっていることや、敗戦時の昭和天皇の責任感ある態度を紹介し、正義と責任の意義について理解出来るように留意した。(第3号)	189～ 283ページ

<p>第二部 諸地域の交流・再編 第六章 イスラーム教の拡大と西アジア 第七章 中世ヨーロッパの権力構造の変化 第八章 東アジア世界の変容と交流 第九章 大交易時代 第十章 近世アジア四大帝国の興亡 第十一章 近世ヨーロッパの展開</p> <p>第三部 第十二章 産業革命と環大西洋革命 第十三章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家の形成 第十四章 帝国主義によるアジア侵略 第十五章 欧米の帝国主義と民族運動 第十六章 第一次世界大戦と世界の変容 第十七章 第二次世界大戦と戦後の新秩序</p> <p>第四部 第十八章 冷戦と第三世界の台頭 第十九章 冷戦の終結と今日の世界 地球世界の課題と探究</p>	<p>【生命の尊び】 戦争の悲惨さを詳述し、生命の尊さに気づかせるように留意した。(第4号)</p> <p>【他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う】 他国との助け合いの歴史を尊重することで、国際的な相互理解の重要性に気付かせるように留意した。(第5号)</p> <p>【男女の平等】(第3号)</p>	<p>284～ 313 ページ</p>
<p>世界各国王朝略年表</p>	<p>【伝統と文化を尊重し】 万世一系で途絶えることなく続いてきた皇統に注目させることで、長年継承されてきたものの大切さに気付かせるように留意した。(第5号)</p>	<p>314－315 ページ</p>
<p>コラム・世界最古の磨製石器は日本かオーストラリアか</p>	<p>【それらを育ててきた我が国と郷土を愛する】 最も身近な言葉の起源を紹介することで、日本という郷土に想いを至らせるように留意した。(第5号)</p>	<p>84－85 ページ</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本書は従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を独自に設定した。そして、天皇を軸として語ることで歴史の連続性をより実感できるように工夫した。また、本書では縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いるなど、ビジュアル面にもこだわり、読書する楽しみを提示しようと試みた。

内容では基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように、情報量と問いを意識して構成した。

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
3 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
- ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第〇号)
 - ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：〇ページ)を記入する。
 - ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。

- 5 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
- 6 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 7 別紙様式第5－1号の分量は5ページ以内とする。

別紙様式第5－2号

(日本産業規格A列4番)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-104	高等学校	地理歴史	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・世界の歴史を、伝統と文化の特色を広い視野に立って臨場感豊かに著し、ワクワクドキドキの連続でまるで映画を見ているかのように、生徒が授業なしでも理解できるようにわかりやすく編集した。
- ・一義的ではなく多角的に理解させ、答えを求めるのではなく問いを提起することを意識して編集した。少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために多くの事実を、科学的根拠・データを用いてしっかりと説明した。
- ・世界の歴史の光と影、その両面を学ぶことで我が国を愛し、そして他国を尊重することができる生徒が育つよう、まさに自分自身こそが我が国の連綿と続く歴史の継承者であることを自覚させ、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養い、どの生活場面でも生かすことができる教科書を作成した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史への眼差し1・2	A (1) (2)	5～9ペー ジ	1時 間
第一部 第一章 文明の成立 第二章 中央ユーラシアと東アジア 第三章 南アジアと東南アジア 第四章 西アジアと地中海世界 第五章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	B (1) (2) (3)	10～ 105ペー ジ	13 時間
第二部 諸地域の交流・再編 第六章 イスラーム教の拡大と西アジア 第七章 中世ヨーロッパの権力構造の変化 第八章 東アジア世界の変容と交流 第九章 大交易時代 第十章 近世アジア四大帝国の興亡 第十一章 近世ヨーロッパの展開	C (1) (2) (3)	106～1 88ページ	22 時間

第三部 第十二章 産業革命と環大西洋革命 第十三章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家の形成 第十四章 帝国主義によるアジア侵略 第十五章 欧米の帝国主義と民族運動 第十六章 第一次世界大戦と世界の変容 第十七章 第二次世界大戦と戦後の新秩序	D (1) (2) (3) (4)	189～ 283ページ	14時間
第四部 第十八章 冷戦と第三世界の台頭 第十九章 冷戦の終結と今日の世界 地球世界の課題と探究	E (1) (2) (3) (4)	284～ 313ページ	5時間
		計	105

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 3 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
- 4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ(例：○～○ページ)を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 5 「配當時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要ない教科、種目については空欄でよい。
- 6 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 7 別紙様式第5－2号の分量は5ページ以内とする。

非常用漢字の初出 ページ一覧

非常用漢字	初出ページ
廻	5
尻	6
窟	6
薩	7
翠	7
翡	7
辿	7
宋	7
李	7
萩	7
頃	7
釉	8
柿	9
斧	12
潰	12
堆	12
臼	12
杵	12
憑	12
梨	13
尖	13
伊	13
槍	13
痕	13
弥	14
熊	14
鏃	15
焰	15
遡	15
播	15
蟹	15
奈	15
棲	16
焉	16
猪	16
桓	17
珀	17

稀	17
琥	17
栗	17
嶼	18
漑	19
沃	19
灌	19
汜	19
葦	21
楔	21
讐	21
閏	21
嵌	21
纂	21
冥	24
呪	24
穰	24
塞	27
牡	27
虎	29
捧	30
祀	30
讚	30
殷	30
浙	31
轆	31
彭	31
遼	31
粟	31
渚	31
韶	31
蘇	31
黍	31
姆	31
輓	31
緻	31
嶺	31
邑	32
渭	32
鎬	32
卿	32
墟	32
龜	32

戎	33
魯	33
夷	33
楚	33
秦	33
趙	33
攘	33
韓	33
魏	33
洛	33
晋	33
狄	33
鞅	33
燕	33
犁	34
穆	34
襄	34
貌	34
斯	34
蟻	34
誰	34
孟	34
荀	34
鄒	35
衍	35
籠	37
斬	37
蔓	37
厥	37
匈	37
牽	39
烏	39
頓	39
于	39
胡	39
劉	39
裔	39
羯	39
羌	39
氏	39
咸	40
俑	41
焚	41

篆	41
勃	41
蜂	41
廟	41
錮	42
敦	42
窺	42
宛	42
煌	42
騫	42
銖	42
戚	42
莽	42
宦	42
儼	42
眉	42
巾	42
倭	43
詁	43
鄭	43
岡	43
舒	43
董	43
渾	43
蔡	43
跋	44
葛	44
琅	44
丕	44
睿	44
侶	44
亮	44
蜀	44
嘉	44
遁	45
嵇	45
隋	45
阮	45
而	45
梁	45
鳩	46
蘭	46
羲	46

愷	46
庇	46
寇	46
淵	46
駢	46
謳	46
儷	46
什	46
莫	46
箴	46
崗	46
之	46
畿	47
允	47
辰	48
釜	48
耶	48
亥	48
埼	48
纂	49
楊	49
羈	49
煬	49
糜	49
呂	50
杜	50
阿	50
穎	50
祆	50
奘	50
甫	50
徭	50
鞣	51
蕃	51
鞣	51
佃	51
祚	51
渤	51
韋	51
閻	52
汴	52
愈	52
溺	52

詢	52
寵	52
褚	52
祿	52
綻	52
梵	55
瞑	55
陀	55
迦	55
崖	56
牙	57
菩	57
紐	58
竺	59
椒	61
臘	62
鍵	64
峙	65
錦	66
獅	66
僭	70
漕	71
權	71
頌	74
杼	74
蒙	76
恣	77
脆	79
頹	79
甥	80
骸	82
傭	82
凱	83
璧	83
徽	83
晒	86
僅	88
絢	90
爛	90
儼	93
傀	93
槌	97
虔	100

戴	100
凌	101
圃	104
滄	111
撒	111
彙	112
鞭	113
跪	118
禱	119
奢	120
侈	120
萌	123
揆	127
繫	129
乞	134
蹟	134
托	134
藤	137
匡	138
杭	138
澶	138
靖	138
胤	138
淮	138
欽	138
檜	138
賑	139
鎌	139
脩	140
烹	140
軾	140
頤	140
琶	143
鈔	143
琵琶	143
廂	143
澣	143
璋	145
饉	145
桂	147
勒	147
鱗	147
丞	147

蓮	147
黎	148
琉	148
靱	149
韃	149
禎	150
坤	150
壬	151
酉	151
舜	151
鋒	153
薯	155
絨	158
毯	158
汲	159
雍	162
熙	162
瀋	162
疆	162
覲	163
辯	164
僑	164
聊	165
昕	165
餐	167
宥	168
牝	168
贖	168
拿	173
籃	174
謐	185
嗜	185
汎	186
繹	186
捉	186
杼	192
挫	196
乖	196
牢	197
瓦	198
蒔	204
塿	209
榜	213

耽	214
濤	214
柴	216
醒	221
錫	222
埔	224
寨	224
厦	224
衙	224
捻	225
纏	225
棠	225
鴻	225
曾	225
湘	225
瑋	226
樺	226
崔	226
閔	226
澎	227
歪	228
棍	230
噲	233
仇	235
膠	235
戊	235
戊	235
昌	237
袁	238
溥	238
牒	241
塹	242
壕	242
釧	250
幟	252
瑞	252
浙	252
霖	252
蔣	252
莞	261
爾	261
磨	262
塘	262

毅	262
盧	262
沽	262
冀	263
蔣	263
汪	263
扮	263
撼	263
那	263
邁	268
蔽	270
挺	270
愕	275
鄧	293
熙	293
煥	293
彪	293
圳	300
拉	303
扁	303

出 典 一 覧 表

申請図書			出 典					備考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
20	古代オリエント	地図						Wikimedia Commons
22	ウルのスタンダード	写真						Wikimedia Commons
23	楔形文字	写真						Wikimedia Commons
25	ロゼッタストーン	写真						Wikimedia Commons
26	フェニキア文字	写真						Wikimedia Commons

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第 33 条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考 4 の内容について確認しました。

